

不定詞 その1: 副詞的用法

to + 動詞の原形

この形のことを、「不定詞(ふていし)」と呼びます。

(^▽^)<「トゥープラスどうしのげんけい。」

と、英語の先生が言っているのを聞いたことがありますか？ それが「不定詞」です。

※「to 不定詞(トゥーふていし)」と呼ぶこともあります。

どちらも同じ「to + 動詞の原形」という形のことを指すよ。

そして、この「不定詞」には、

その1 : 副詞的用法(ふくしてきようほう)その2 : 名詞的用法(めいしてきようほう)その3 : 形容詞的用法(けいようしてきようほう) … と、同じ形で3つの意味・使い方があります。

※副詞用法、名詞用法、形容詞用法、と「的」を入れない呼び方もあるよ。

その1 : 副詞的用法

その中のさらにその① : 「~するために」

I went to the library to study math. 私は数学を勉強するために図書館へ行った。

He came to my house to play video games. 彼はテレビゲームをするために私の家に来た。

My sister studies science hard to be a doctor.

私の姉(妹)は医者になるために理科を熱心に勉強しています。

Why did you go to the shop? – To buy a T-shirt.

あなたはなぜそのお店に行ったのですか？ – Tシャツを買うためです。

★ その1のその① の特徴 ★

・英文全体の和訳をした時に、「~するために」という意味になりそうだな、というのがつかみやすい。
いろいろある用法の中でもわりとつかみやすい用法だと思います(^o^)

・例えば、I went to the library / to study math. と

不定詞(この場合は to study)の前で文を区切った時、そこより前の部分(I went to the library)が「1つの文」として成立している、という特徴もあります。

I went to the library. 私は図書館に行った。 ← これだけで1つの文として成り立っているね。

※ただし、この特徴は、のちほど出てくる「その3」の英文にも当てはまる部分があるので注意！

その② : 「~して(うれしい、悲しい、驚いた、など)」

I'm very happy to hear that news. 私はそのニュースを聞いてとてもうれしい。

They were sad to see the result. 彼らはその結果を見て悲しかった。 ※result(リザルト) = 結果

I was so surprised to know about their marriage. ※marriage(マリッジ) = 結婚

私は彼らの結婚について知ってとても驚いた。

★ その1のその② の特徴 ★

うれしい(happy, glad)、悲しい(sad)、驚いた(surprised)、興奮した(excited)など、

「感情を表す形容詞」の後ろに来る不定詞(to + 動詞の原形)は、このグループだと言えそうだね(^o^)

不定詞 その2: 名詞的用法

to + 動詞の原形

この形のことを、「不定詞(ふていし)」と呼びます。

その2 : 名詞的用法 「～すること」

To walk is good for health. 歩くことは健康に良い。 ※health(ヘルス) = 健康

My hobby is to listen to music. 私の趣味は音楽を聴くことです。

I like to play the piano. 私はピアノを弾くことが好きです。(= ピアノを「弾くのが」と訳してもOK。)

He started (または began) to study math.

彼は数学を勉強することを始めた。 = 彼は数学を勉強し始めた。

↳ 「～することを始める(始めた)」という言い方でも悪くはないけど、

「～し始める(し始めた)」という言い方のほうが自然だよね(^o^)/

I want to read the new book. 私は新しい本を読むことが欲しい = 私は新しい本を読みたい。

↳ 「読むことが欲しい」という言い方はしないよね。

want + to + 動詞の原形 は特別に「～したい(したかった)」と訳しましょう(^▽^)

I tried to open the window. 私は窓を開けることを試みた。 = 私は窓を開けようとした。

↳ 「開けることを試みた」という言い方も、全くしなくはないけどちょっと不自然…

try + to + 動詞の原形 は「～しようとする(した)」と訳すと自然だね♪

★ その2 の特徴 ★

基本的には「～すること」という意味になると考えてOK。

ただし、上に書いたように、

start (begin) + to + 動詞の原形 / want + to + 動詞の原形 / try + to + 動詞の原形

これらは「～すること」と和訳すると不自然なので、それぞれに合った訳し方(意味)で覚えよう(^o^)

start (begin)、want、try 他に like、hope、wish など…

これらの一般動詞の後ろに不定詞(to + 動詞の原形)が来る場合、

教科書や参考書では、「動詞の目的語としての不定詞」、「動詞の目的語の役割」などと

「目的語」という言葉で説明されているかもしれません。

でもこれは、「イチから(初級)」を学習中の皆さんはあまり気にしなくても大丈夫!

(・▽・)。o O(基本「～すること」だけど、そう訳すと不自然なものはそれぞれに合った意味で。)というふうに理解しておけば、つかみやすいと思いますよ♪

【ミニ練習問題】 次の英文を和訳せよ。

- I like to talk with friends. ()
- She began to run. ()
- I want to buy a new car. ()
- They tried to answer the question. ()

不定詞 その3:形容詞的用法

to + 動詞の原形

この形のことを、「不定詞(ふていし)」と呼びます。

その3 : 形容詞的用法 「～するための、～するべき、～する、等」

↳ 注目！！

その1(副詞的用法)、その2(名詞的用法)に比べて、
意味(訳し方)がつかみづらいのが、この「その3(形容詞的用法)」なのです(ーoー)
 その場その場、その文ごとに、合うような意味(訳し方)で理解していくしかないね。

★ただ、英文の中に現れる「形」に特徴があるから、それをまずつかもう！★

↓それはこんな「形」

名詞	+	その直後に不定詞(to + 動詞の原形)
----	---	----------------------

そして、この「形」の部分は、

「～するための(～するべき、～する)

〇〇(名詞)

」という意味になります φ(^_^)

英語の場合	:	<table border="1"><tr><td>名詞</td></tr></table> + 不定詞(to + 動詞の原形)	名詞
名詞			

↑ 比べてみよう! ↓

日本語の場合	:	～するための(～するべき、～する) <table border="1"><tr><td>〇〇(名詞)</td></tr></table>	〇〇(名詞)
〇〇(名詞)			

☆

名詞

 の部分と 不定詞(to + 動詞の原形) の部分が、英語の場合と日本語の場合では、順番が逆になっているね！ これポイント(^o^)

a book

 to read 読むための(読むべき)

本

places

 to visit 訪れるための(訪れるべき)

場所

a present

 to give you あなたにあげる(ための)

プレゼント

time

 to study English 英語を勉強するための

時間

何となくつかめてきたかな～♪

something

 to read 読むための

何か

 (何か読むためのもの、何か読むもの)

something

 to eat 食べるための

何か

 (何か食べるためのもの、何か食べるもの)

something

 to drink 飲むための

何か

 (何か飲むためのもの、何か飲むもの)

この something(何か)シリーズは、不定詞の例文や問題の中で非常によく見るので、
 文の形(something + 不定詞(to + 動詞の原形))と、意味(訳し方)をよく頭に入れておこう o(^▽^)

不定詞 その3:形容詞的用法

★では、例文で見てみましょう。

I want something to read. 私は読むための何か(何か読むためのもの、何か読むもの)が欲しい。
 Please give me something to drink. 飲むための何か(何か飲むためのもの、何か飲むもの)をください。
 There are many places to visit in Kyoto. 京都には訪れるべき(訪れるための)場所がたくさんある。
 ※ many places をひとまとまりで名詞と考えてもOK。また、和訳は たくさんの場所 でもOK♪
 He bought a present to give his mother. 彼はお母さんにあげるためのプレゼントを買った。

【ミニ練習問題】

次の英文の 名詞 の部分は 箱 で囲み、不定詞(to + 動詞の原形)の部分には下線を引いてみよう。
 また、それぞれの英文を和訳して、そちらも 名詞 は 箱 で囲み、不定詞には下線を引いてみよう。

例) I want something to eat.

→ I want something to eat.

(私は食べるための何か(何か食べるためのもの、何か食べるもの)が欲しい。)

Please give him something to drink.

()

There are some places to visit in this town.

()

★ ここから少し難しくなりますよ。でも大丈夫！ ゆっくりついてきてね。★

↓これは、「その1(副詞的用法)の、さらにその①」の解説プリントの中に出てきた例文です。

I went to the library to study math. 私は数学を勉強するために図書館へ行った。

…あれ？ この文、

I went to the library to study math.

↑ library(図書館)が名詞だから、このように 箱 で囲める気がしませんか？

(o^▽^)o<する〜〜！

するよね？ しますよね？ 名詞 + 直後に不定詞(to + 動詞の原形) となっているもんね？

でも…その名詞を 箱 で囲んで、さっき練習したように「その3」の訳し方で和訳してみると、

私は数学を勉強するための図書館へ行った。(. .)

…「数学を勉強するための図書館」？ …?? そんな図書館ある??

おかしい。これはおかしい。

つまり、I went to the library to study math. この英文は、

形は「その3」の形をしているとも言えるけれど、意味(和訳)を考えると「その3」の意味ではおかしいので、その3(形容詞的用法)の英文ではないということなのです！

「その1のその①」の解説や練習問題に出てきた英文は、この特徴(名詞を 箱 で囲むとその3っぽいけど、その3の和訳のしかたで和訳してみるとおかしい)が当てはまるものが多いので、1つ1つ確認してみると、その1の復習にもなるし、その3の勉強にもなりますよ。ちょっと大変だけど Let's try(≧▽≦)